



進化する障がい者のスポーツ

《講師》大槻 洋也 氏 至学館大学 教授
日本パラリンピック委員会 強化委員長

リハビリテーションを目的として始まった「障がい者のスポーツ」。しかし、年を追うごとに競技性が高くなるパラリンピックを中心に変化しています。義足や車椅子等の用具の改良は急ピッチです。国内においては、スポーツ庁の設立もあり、2020年のオリンピック・パラリンピックに向け今まで以上のスピードで「障がい者のスポーツ」は進化しています。今回は障がい者スポーツの専門家で、パラリンピックなど国際大会への帯同経験も豊富な大槻氏を講師としてお招きし、現在の障がい者スポーツの状況を紹介していただきます。中京大学体育学部のOBで、数々の大舞台を経験され、現在も第一線で活躍される大槻氏の貴重なお話を聞くことができる機会です。多くの方の参加をお待ちしております。

《日時》 2016年1月14日(木)
17:00 ~ 18:30

《会場》 豊田キャンパス14号館
2階大会議室



《講師紹介》

大槻 洋也 OTSUKI Hiroya

至学館大学 健康科学部 健康スポーツ科学科 教授

- ・1978年 中京大学体育学部卒業
- ・稲荷山医療福祉センター、名古屋市総合リハビリテーションセンターを経て、中京女子大学(現 至学館大学)短期大学部に勤務
- ・2008年から同大学の健康科学部スポーツ科学科教授、専門は障がい者のスポーツ
- ・日本パラリンピック委員会(JPC)運営委員及び強化部会部員として活動する傍ら、車いすテニス競技の日本代表監督としてアトランタ(1996)、シドニー(2000)、アテネ(2004)、北京(2008)、ロンドン(2012)のパラリンピック大会に帯同
- ・2014年 韓国の仁川で開催されたアジアパラ競技大会では日本選手団団長。現在日本パラリンピック委員会強化委員長

